

一般講演プログラム

| セッション名 | 発表日時・会場 | 座長 | 演題番号 | 筆頭演者 | 演題名 |
|--|----------------------------------|----------------|------|----------------|--|
| 一般講演 1 Regulation | 11月17日 (水) 9:30~10:30 D会場 | 石井 明子 降幡 知巳 | O1-1 | 中野 匠 | m ⁶ A修飾関連酵素METTL3およびALKBH5はヒト肺由来細胞においてARNTの発現を正に制御することによりCYP1A1の誘導を調節する |
| | | | O1-2 | 稲本 拓斗 | m ⁶ A修飾はMRP7の発現を抑制することでヒト肺がん由来細胞株A549細胞のバクテリキセル感受性を増強する |
| | | | O1-3 | 黒澤 キアム | クロマチンリモデリング因子ncBAFはヒトおよびマウス肝臓においてPXRによる転写活性化を正に制御する |
| | | | O1-4 | 三田村 滯 | パラスペックルの構成要素であるNEAT1_2はPXRと相互作用しCYP3A4の転写活性化を抑制する |
| | | | O1-5 | 水野 忠快 | 分解戦略による薬物の複合的作用理解に向けたトランスクリプトームプロファイル因子構造の新たな活用法 |
| 一般講演 2 Absorption | 11月17日 (水) 9:30~10:30 E会場 | 荒川 大 井上 勝央 | O2-1 | 深澤 尚美 | エステル修飾プロドラッグ化がOATP2B1を介したOlmesartanの輸送に与える影響 |
| | | | O2-2 | 都丸 充子 | マラビロク非線形動態のCGNMによる生理学的薬物速度論(PBPK)解析 |
| | | | O2-3 | 吉友 葵 | CYP3A発現Caco-2細胞を用いた細胞内薬物濃度を考慮した薬物吸収評価のための新しい分析法 |
| | | | O2-4 | 横田 純平 | 創薬応用のためのMDR1-knockoutヒト腸管オルガノイドの樹立 |
| | | | O2-5 | Alshammari Aya | 大腸がん患者におけるレゴラフェニブの腸肝循環を説明するPBPKモデル |
| 一般講演 3 Bioimaging | 11月17日 (水) 10:45~11:35 D会場 | 前川 京子 河村 章生 | O3-1 | ピヤニ マドウ | 高速原子間力顕微鏡と分子ドッキングの統合的アプローチによるCYP24A1へのDNAアプタマーの結合メカニズムの研究 |
| | | | O3-2 | 中岡 貴義 | PETイメージングによる ^[18] pitavastatinのラット胎児輸送の定量的評価 |
| | | | O3-3 | 麓 伸太郎 | 組織透明化を基盤としたDDS評価法の開発 |
| | | | O3-4 | 北村 啓太 | ヒト不死化血液脳関門スフェロイドモデルは受容体介在性トランスサイトシスによる高分子医薬品の脳移行性評価に有用である |
| 一般講演 4 Transporter 1 | 11月17日 (水) 10:45~11:45 E会場 | 石黒 直樹 久保 義行 | O4-1 | 森 彩乃 | 定量的標的プロテオミクスによるヒト肝トランスポーターのタンパク質定量値の評価 |
| | | | O4-2 | 篠田 裕太郎 | オロ酸トランスポーターとしてのヒトOAT10の機能的同定 |
| | | | O4-3 | 石井 まり | タダラフィルおよびシルデナフィルのマウス胎仔移行性と胎盤透過制御機構 |
| | | | O4-4 | 川崎 達也 | 腎トランスポーターOCT2, MATE1, MATE2Kによるアミロライド輸送の特性解析 |
| | | | O4-5 | 杉山 滉基 | MCT6の内因性基質の同定 |
| 一般講演 5 Drug Metabolism Enzyme | 11月17日 (水) 14:30~15:30 D会場 | 深見 達基 岩尾 岳洋 | O5-1 | 石井 祐次 | マウス肝ミクロゾームのUDP-グルクロン酸転移酵素活性のアデニン関連化合物による調節 |
| | | | O5-2 | 岩田 優実 | ApoBノックイン型アルツハイマー病モデルマウス肝臓における薬物代謝・輸送関連タンパク質発現変動の解明 |
| | | | O5-3 | 下村 友花 | ラット・マウスUDP-グルクロン酸転移酵素2B1キメラによる基質特異性決定領域の同定 |
| | | | O5-4 | 王 夢洋 | 低吸収フッ素エラストマーデバイスの開発と薬物代謝評価 |
| | | | O5-5 | 菱沼 英史 | 日本人3,554人の解析で同定された41種のジヒドロピリミジンデヒドロゲナーゼ遺伝子多型バリエーションの酵素機能解析 |
| 一般講演 6 Toxicity | 11月17日 (水) 15:45~16:45 D会場 | 伊藤 晃成 渡邊 伸明 | O6-1 | 川見 昌史 | 肺上皮におけるTGF-β1誘発性上皮間葉転換に及ぼす2-デオキシグルコースの影響解析 |
| | | | O6-2 | 橋本 芳樹 | サル・イス由来の部位別単離crypt培養系を用いた薬剤誘導性消化器毒性の評価系の構築および基礎検討 |
| | | | O6-3 | 嘉手苅 佑吏 | 肺上皮細胞における上皮間葉転換とmiR-222の関連解析 |
| | | | O6-4 | ジョーンズ ヘイリーさくら | 感受性および耐性マウスモデルを用いた抗CTLA-4抗体に対する耐性メカニズムの検討 |
| | | | O6-5 | 吉田 光佐 | 低クリアランス化合物におけるヒト薬物動態予測の課題克服を目的としたヒト肝キメラマウスを用いたin vivoアプローチ |
| 一般講演 7 Transporter 2 PK modeling | 11月18日 (木) 9:30~10:30 E会場 | 西村 友宏 伊藤 清美 | O7-1 | 張 協義 | P-gp発現の調節におけるSnailと足場蛋白質の役割 |
| | | | O7-2 | 伊藤 航平 | リンパ球細胞におけるニンテダニブの細胞内濃度に対するP糖タンパク質阻害の影響 |
| | | | O7-3 | 年本 広太 | クラスターガウスニュートン法を用いたPBPKモデリング解析におけるMiddle-out アプローチの提案;シムプレビルの非線形薬物動態解析を例に |
| | | | O7-4 | 吉門 崇 | 肝OATP1B内在性基質コプロポルフィリンを対象としたクラスターガウスニュートン法によるPBPKモデリング |
| | | | O7-5 | 望月 達貴 | 内因性バイオマーカーを用いたシクロスポリンAによるOATP1B阻害と持続時間の評価 |
| 一般講演 8 Transporter3 DDS | 11月18日 (木) 10:45~11:45 E会場 | 宮内 正二 設楽 悦久 | O8-1 | 稲垣 舞 | ヒト脳血管内皮細胞における胎盤栄養膜細胞から分泌される細胞外小胞の輸送特性 |
| | | | O8-2 | 伊藤 武 | 血液精巣関門 (BTB) における3'-Azido-3'-deoxythymidine (AZT) 輸送機構 |
| | | | O8-3 | 佐藤 翔 | 非臨床動物及びヒトにおける薬剤の脳並びに脳脊髄液移行性の定量的予測を目的としたトランスレーショナル中枢移行薬物動態モデルの構築 |
| | | | O8-4 | 加藤 直也 | ペプチド脂質誘導体修飾ナノ粒子の多色深部観察法を活用した脳指向性評価 |